

なすしおばら げんきびと 元気人

あなたの身近な
元気人を募集中



>>> NPO法人三区町地域資源・環境保全会事務局長
三区町環境保全隊事務局長
すずきよしお
No.25 鈴木良雄 さん (68歳)

福島県出身。上京して製造会社に就職するが、工場の一部が栃木県に移転したことで、昭和49年に三区町へ移住。小学校評議員や自治会長を歴任後、知人から誘いを受けて地域活動を本格的に開始し、現在に至っています。

Pick up



子どもたちに那須疏水の歴史や、農業用水路の役割などを説明する鈴木さん



生き物調査では、子どもたちが目を輝かせながら生き物を探します



毎回、多くの人が参加する田園ウォーク。今年も**7月2日**に開催予定



どのような分野の地域活動でも
最後は「まちづくり」に繋がっている

三島環境保全隊の活動の様子を詳しく知りたい人は…

【三区町環境保全隊HP】

<http://www.sankucho.jp/> をチェック

農村環境の保全や持続的発展のために活動している三区町環境保全隊。また、この活動の幅を広げ、継続していくために発足したNPO法人三区町地域資源・環境保全会。

この両団体の事務局長として活躍している鈴木良雄さんに話を伺いました。

西那須野地区では西方に位置する三区町は、昔から水田が広がる農村地域です。約40年前に鈴木さんが移住した時は世帯数も少なく、そのほとんどが農家でした。「引越してきたときは、早く地域に溶け込めるように、ほとんどの行事に家族ぐるみで参加しました」

と話す鈴木さん。また、地区の野球チームに誘ってもらったことで人とのつながりができ、それが今の活動をするきっかけの1つになったとのこと。

平成19年に農林水産省の「農地・水環境向上対策」のための事業が実施され、三区町でも取り組みを始めることに。この時、地域の仲間から誘われて活動に参加し、発足した三区町環境保全隊の事務局長に就任しました。鈴木さんは「昔と違って、三区町の住民の大半は非農家。農村環境保全のイベントなどを企画するときは『多くの住民が参加できるようにバランスのとれた内容』になるように気をつけた」と当時を振り返ります。那須疏水の歴史や役割を知ってもらうための田園ウォークや、子供会と連携した生き物調査、水路・農道周辺への植栽など多くの活動を続けてきました。

平成24年にはNPO法人三区町地域資源・環境保全会を設立。「5年間かけて地域がきれいになり、みんな喜んでくれた。今までやってきたことに加えて、これからも幅広く活動を続けていくため」と話す鈴木さん。「三区町でも高齢者が増えてきている。今後は地域活動と高齢者対策を結びつけた活動をしていきたい」と抱負を語ってくれました。